

V2H-充放電器

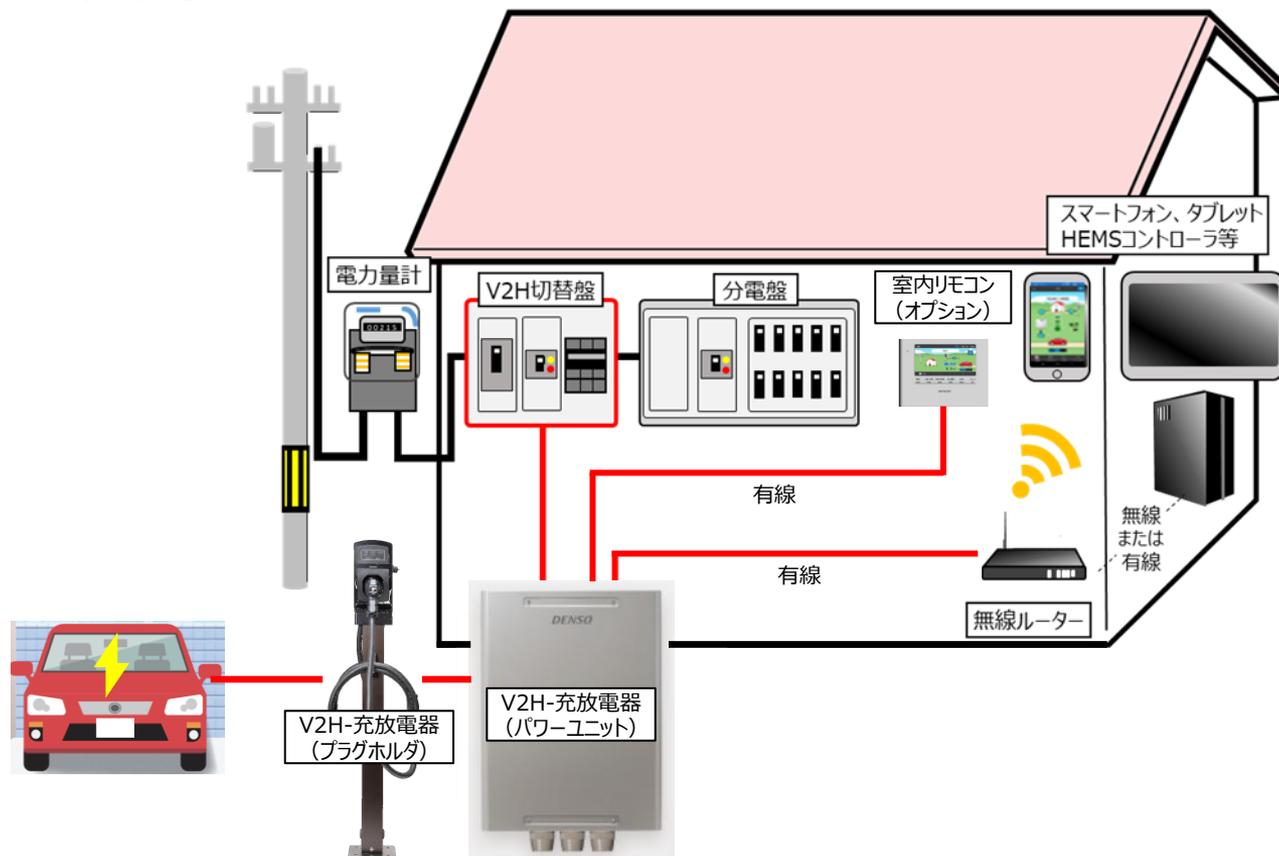
DNEVC-SD6075/ DNEVC-SD6075S

先行工事用 参考資料

※末尾にSがつく型番は、重塩害対応タイプです。

- 将来的にV2H-充放電器の設置を検討される場合のポイントを紹介します
- SDシリーズは施工に際して事前に施工講習を受講いただく必要があります
- 詳細な内容については施工講習にて説明いたします

完成イメージ図



- パワーユニット ……屋外に設置します。据置と壁掛を選択できます。分電盤からケーブル長さ最大40m。
- プラグホルダ ……屋外に設置します。据置と壁掛を選択できます。パワーユニットからケーブル長さ最大30m。
(充電コネクタケーブル7.5mが届く位置)
- 切替盤 ……電力量計から分電盤までの幹線の経路上に設置します。
- 室内リモコン ……オプションにて室内リモコンが設定できます。本製品はスマホアプリもしくは室内リモコンにてご利用いただけます。

※パワーユニット、プラグホルダを据置設置する場合は基礎工事が必要です。

先行工事について

将来的にV2H－充放電器の設置を検討される場合、あらかじめ考慮いただく主なポイントは以下の3点です。

① 本体を設置できるスペースの確保

② 分電盤と同じ内壁に切替BOXの確保

V2Hは、分電盤の一次側に自動切替開閉器を設置する仕様になっています。
分電盤設置の壁面に切替器も設置できるようにスペースを確保する必要があります。
※設置の条件によっては分電盤内に自動切替開閉器をおさめることも可能です。

③ 先行配管の導入

電力線用：分電盤(切替BOX) ～ パワーユニット設置予定場所 ×1本 (PFΦ28)

電力線用：パワーユニット設置予定場所 ～ プラグホルダ ×1本 (PFΦ28)

通信線、CT線用：パワーユニット設置予定場所～分電盤及び情報分電盤などBBルータ設置場所×1本 (PFΦ28)

先行配管用：外壁に防水ジョイントボックス・・・上記先行配管の中継 (V2H本体にはPFΦ28×3本で入線)

【ご注意】

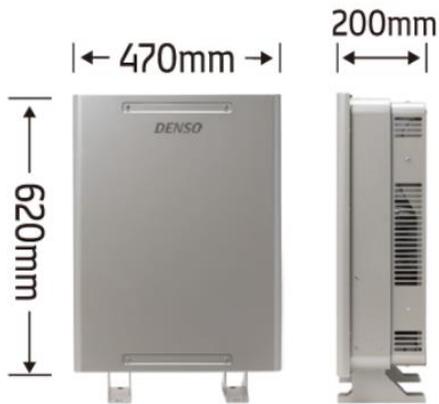
- 1) 分電盤からパワーユニットまでのCT線・通信線の最大長さは「40m」です。40m以内となるように各機器位置を決める必要があります。
- 2) パワーユニットからプラグホルダまでの通信線の最大長さは「30m」です。30m以内となるように各機器位置を決める必要があります。
- 3) V2Hの仕様変更等により、システム構成が変更になった場合は、先行工事の内容で対応ができない場合があります。

① 本体を設置できるスペースの確保

本体サイズ

パワーユニット

- 据置、壁掛
※突起部含まず

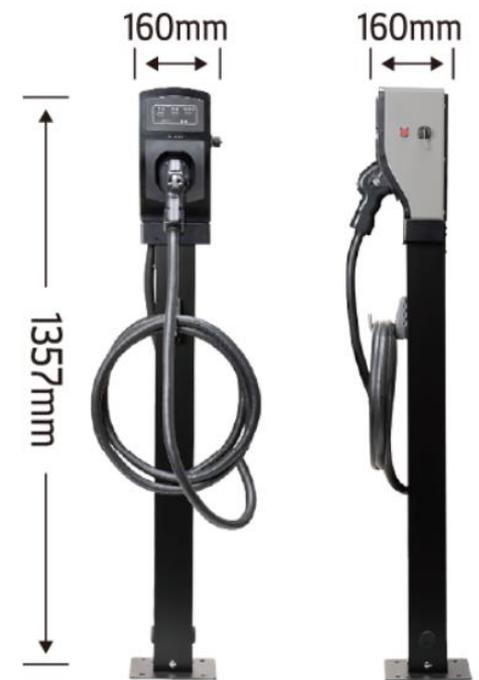


プラグホルダ

- 壁掛
突起部含まず



- ポール設置
突起部含まず



① 本体を設置できるスペースの確保

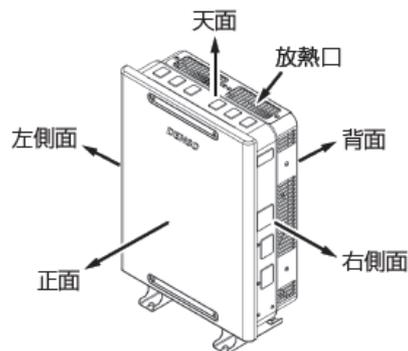
最低離隔距離

本体、操作部の周囲は、排熱とメンテナンスのために、以下の寸法以上の距離を確保してください。
また、それらを妨げないよう、最低離隔距離範囲内には物を置かないでください。

据置設置

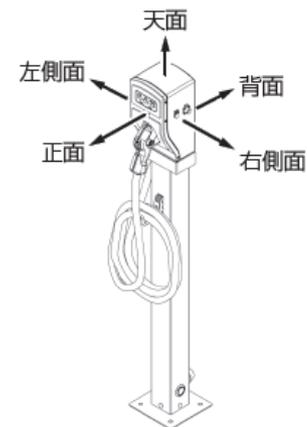
パワーユニット

正面	: 600 mm
背面	: 200 mm
左側面	: 300 mm
右側面	: 300 mm
天面	: 300 mm



プラグホルダ

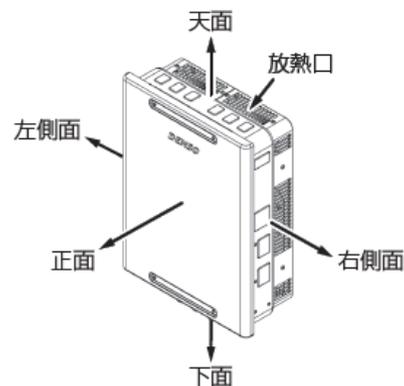
正面	: 600 mm
背面	: 50 mm
左側面	: 300 mm
右側面	: 300 mm
天面	: 200 mm



壁掛設置

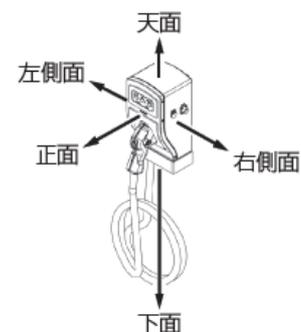
パワーユニット

正面	: 600 mm
左側面	: 300 mm
右側面	: 300 mm
天面	: 300 mm
下面	: 700 mm



プラグホルダ

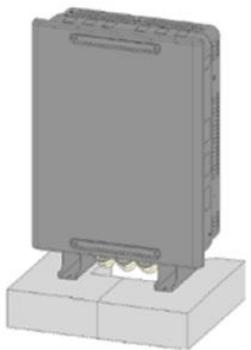
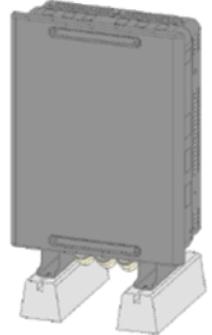
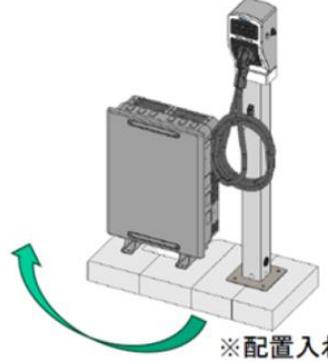
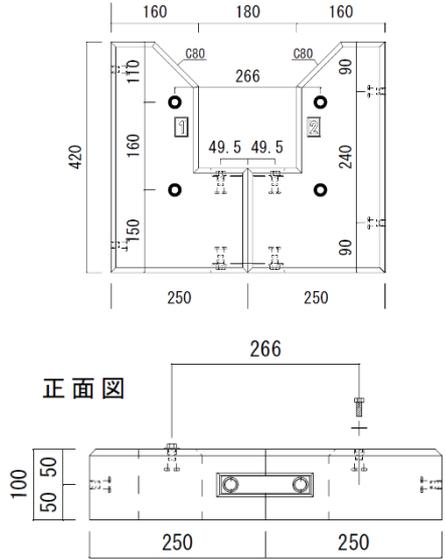
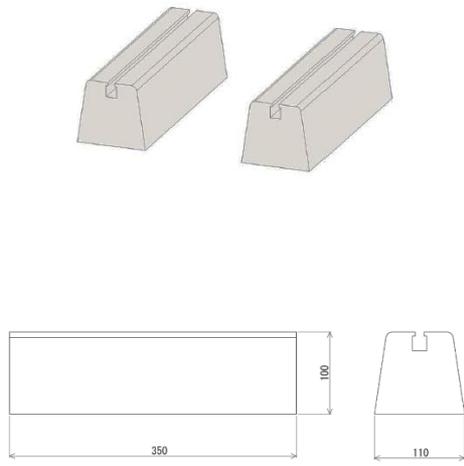
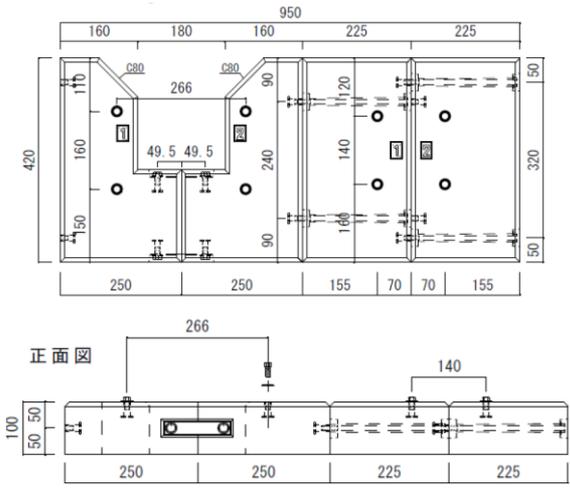
正面	: 600 mm
左側面	: 300 mm
右側面	: 300 mm
天面	: 200 mm
下面	: 900 mm



① 本体を設置できるスペースの確保

本体基礎

【据置設置の場合（参考）】

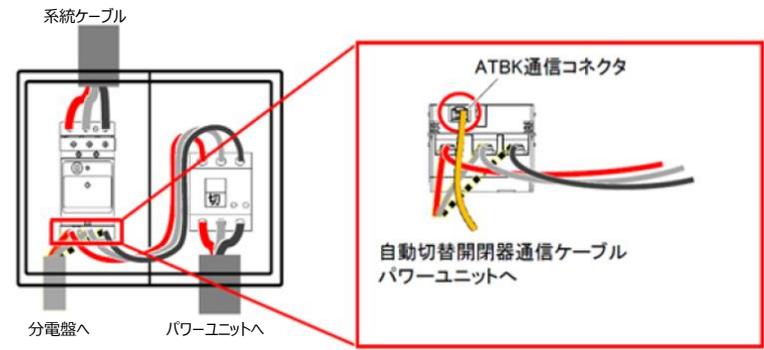
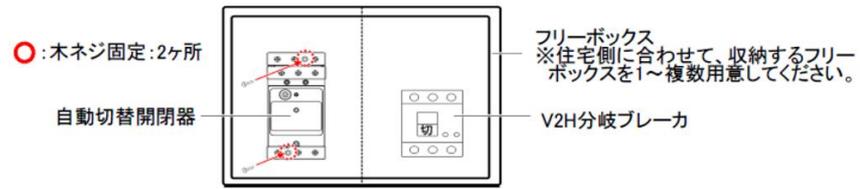
種類	耐震クラスA SN420(東洋ベース(株)製)	耐震クラスB L350-100(東洋ベース(株)製)	一体型基礎 SN420L(東洋ベース(株)製)
設置姿			 <p>※配置入れ替え可能</p>
詳細	 <p>Top view dimensions: 160, 180, 160, 420, 110, 266, 90, 150, 160, 49.5, 49.5, 240, 90, 250, 250.</p> <p>Front view dimensions: 266, 100, 50, 250, 250.</p>	 <p>3D perspective dimensions: 350, 110.</p> <p>Front view dimensions: 350, 110.</p>	 <p>Top view dimensions: 160, 180, 160, 950, 225, 225, 420, 110, 266, 90, 150, 160, 49.5, 49.5, 240, 140, 1120, 160, 155, 70, 70, 155, 320, 50, 250, 250.</p> <p>Front view dimensions: 266, 100, 50, 250, 250, 140, 225, 225.</p> <p>※ポール単体の基礎としてはご使用できません</p>

※パワーユニットの下部に接続するPF管の納まり上干渉するため、ベタ基礎に固定することはできません。

②分電盤と同じ内壁に切替BOX設置

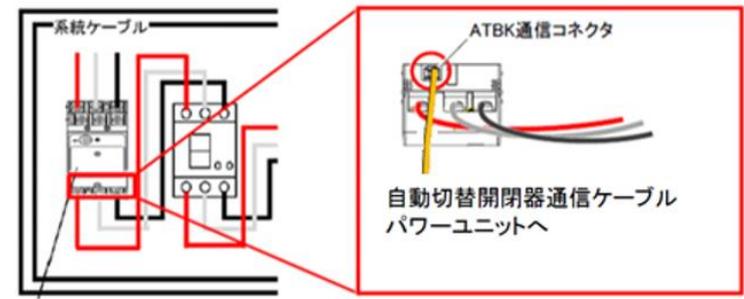
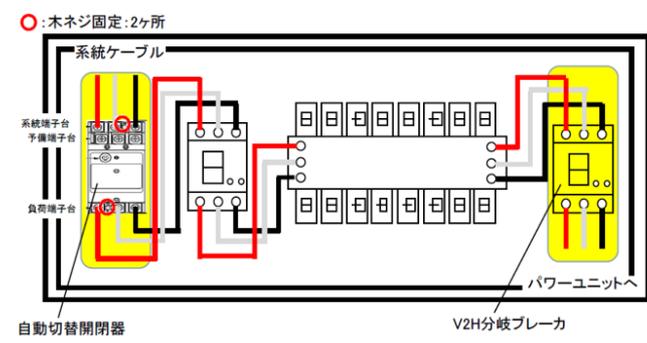
<分電場の1次側に設置する場合>

- 住宅側の指示に従って最適なフリーボックスを準備し、自動切替開閉器、V2H分岐ブレーカをフリーボックス内に固定してください。



<分電盤の2次側に設置する場合>

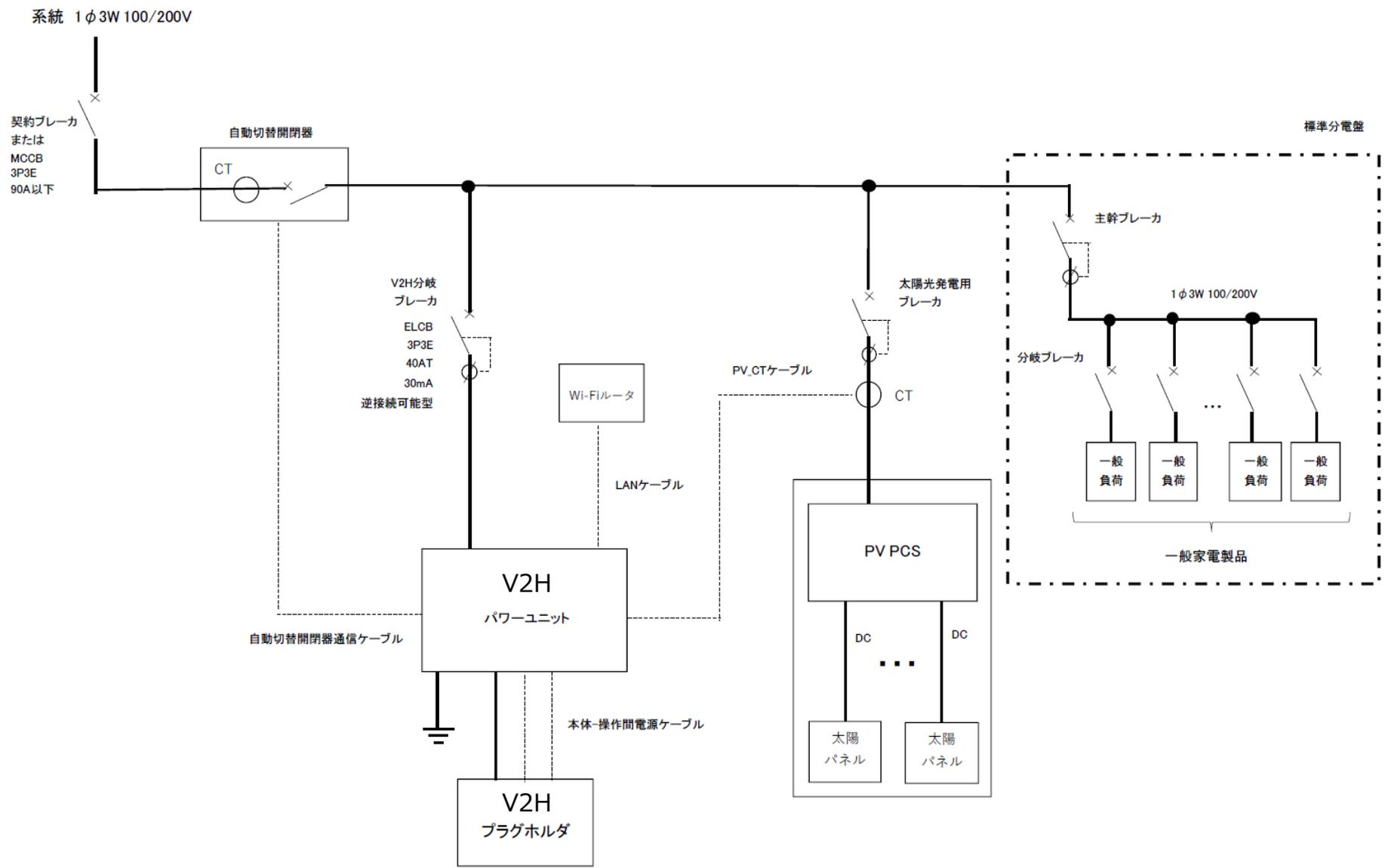
- 新規で分電盤を設置する場合は、下記の仕様を満足する分電盤を採用頂くと配線がスムーズに行えます。
- 自動切替開閉器は、リミッタースペースに取り付けることが可能です。
- フリースペースに V2H分岐ブレーカを設けてください。



配線例

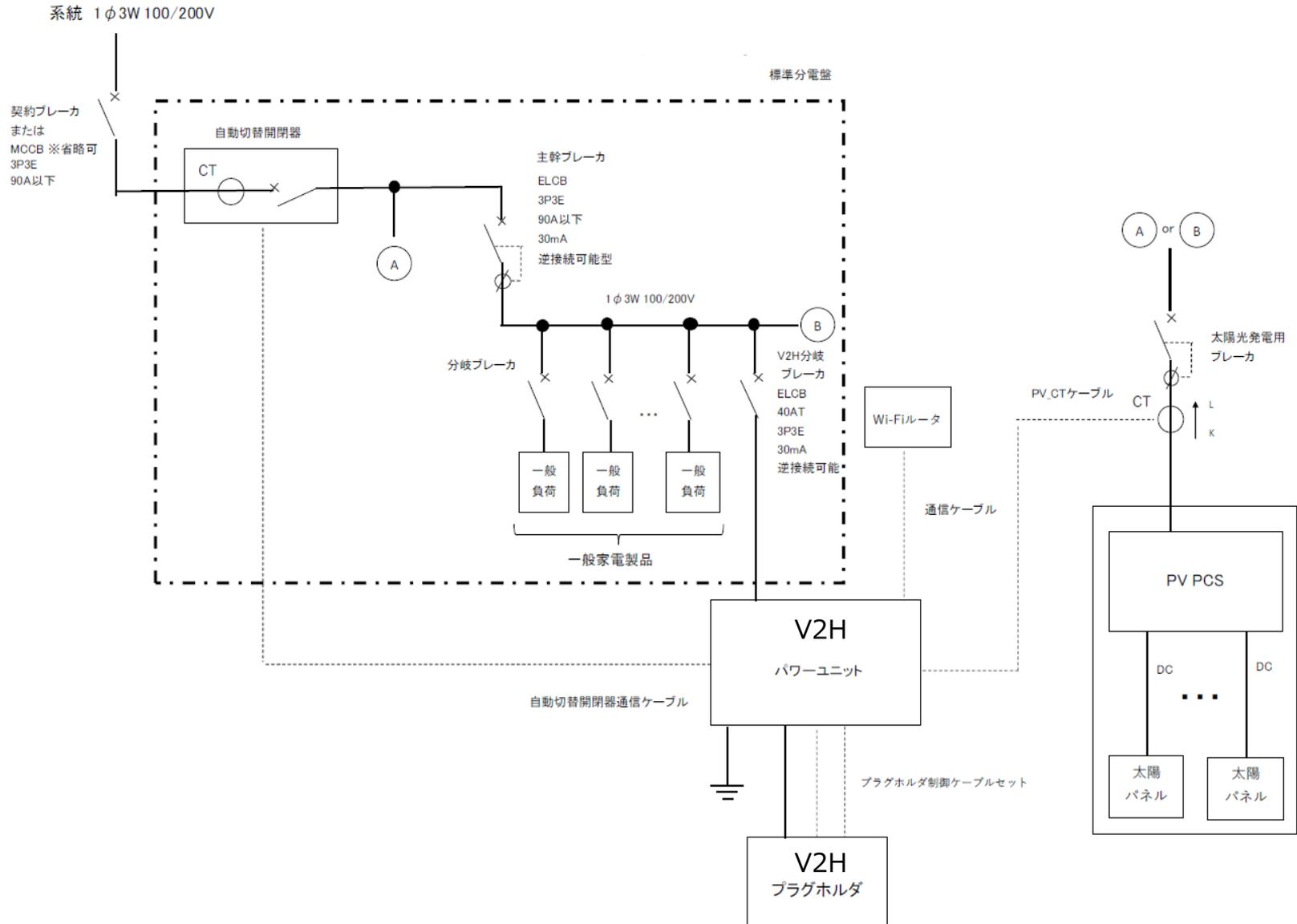
1次送り配線

分電盤の1次側にV2H-充放電器を設置する場合



配線例

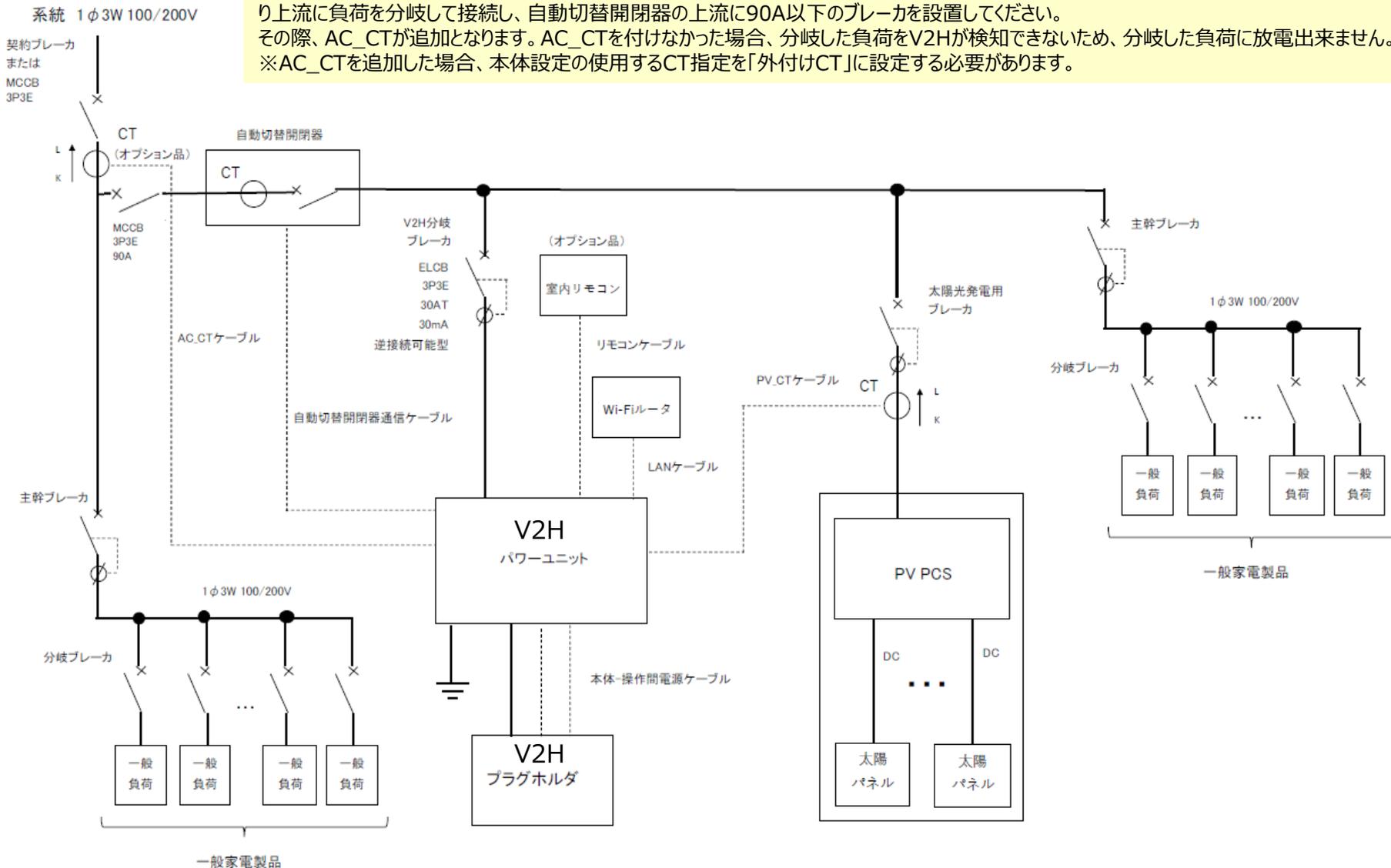
2次送り配線 分電盤の2次側にV2H-充電器を設置する場合



配線例

負荷分岐配線

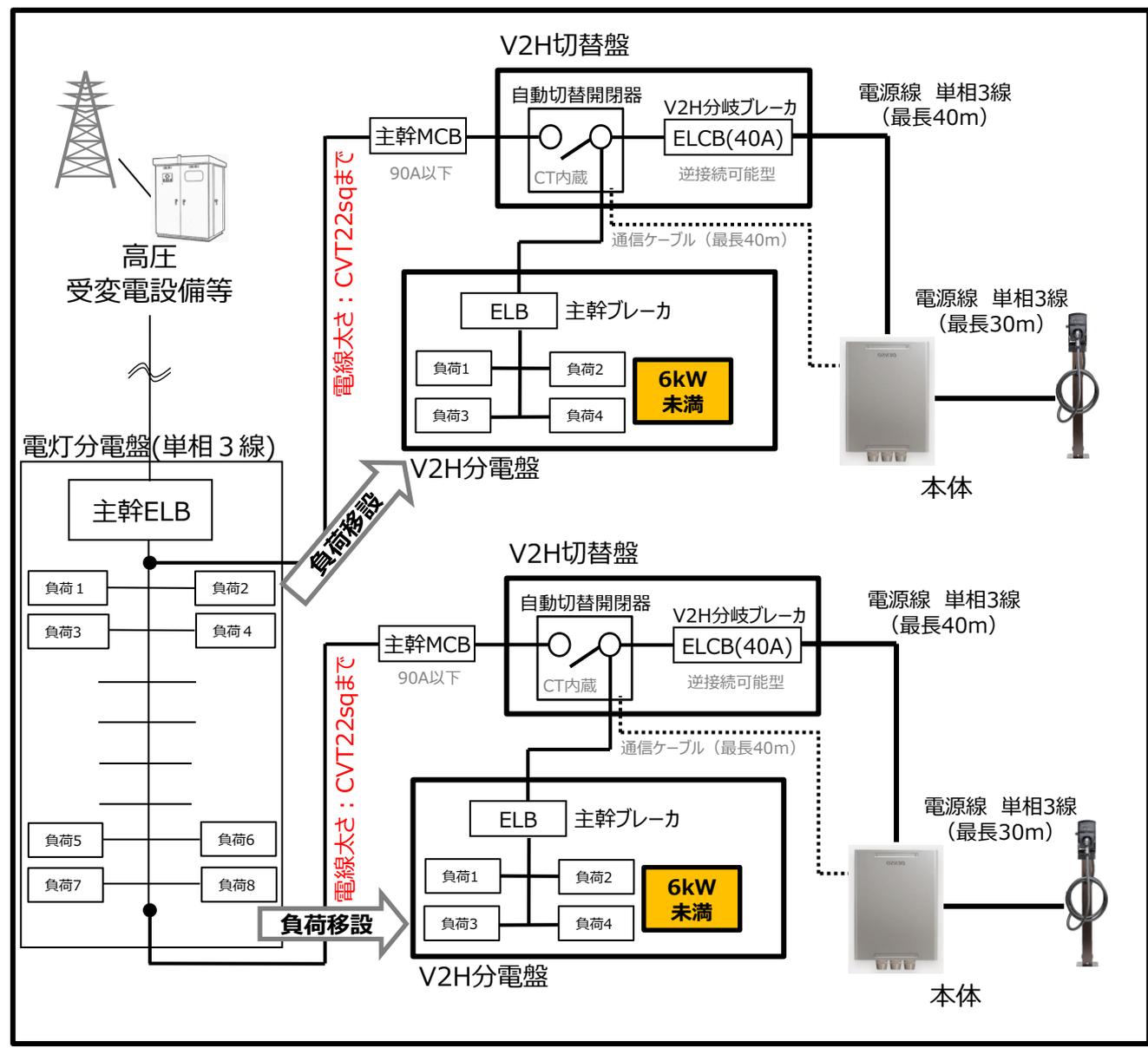
18kVA以上の負荷がある場合、自立運転時に使用出来ない家電製品がある場合、EV用充電器を設置する場合には、自動切替開閉器より上流に負荷を分岐して接続し、自動切替開閉器の上流に90A以下のブレーカを設置してください。その際、AC_CTが追加となります。AC_CTを付けなかった場合、分岐した負荷をV2Hが検知できないため、分岐した負荷に放電出来ません。※AC_CTを追加した場合、本体設定の使用するCT指定を「外付けCT」に設定する必要があります。



参考資料

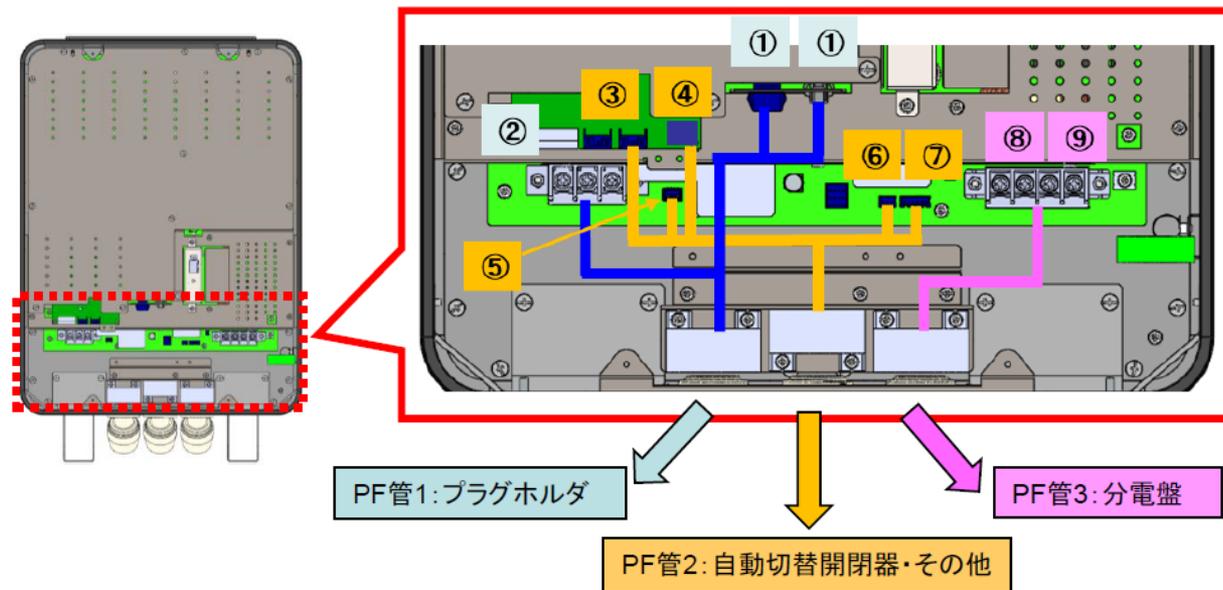
電灯分電盤の主幹ELBが200Aを超える場合（二次側設置及び複数台設置案）

- V2H切替開閉器につなげられる容量は90A以下です。
- 複数台V2Hを設置する場合、右図を参照しV2H切替盤を分岐してください。
- 電線径は主幹MCBの容量に合わせて選定してください。



参考資料

電力線、制御ケーブルの接続箇所（例：パワーユニット側）



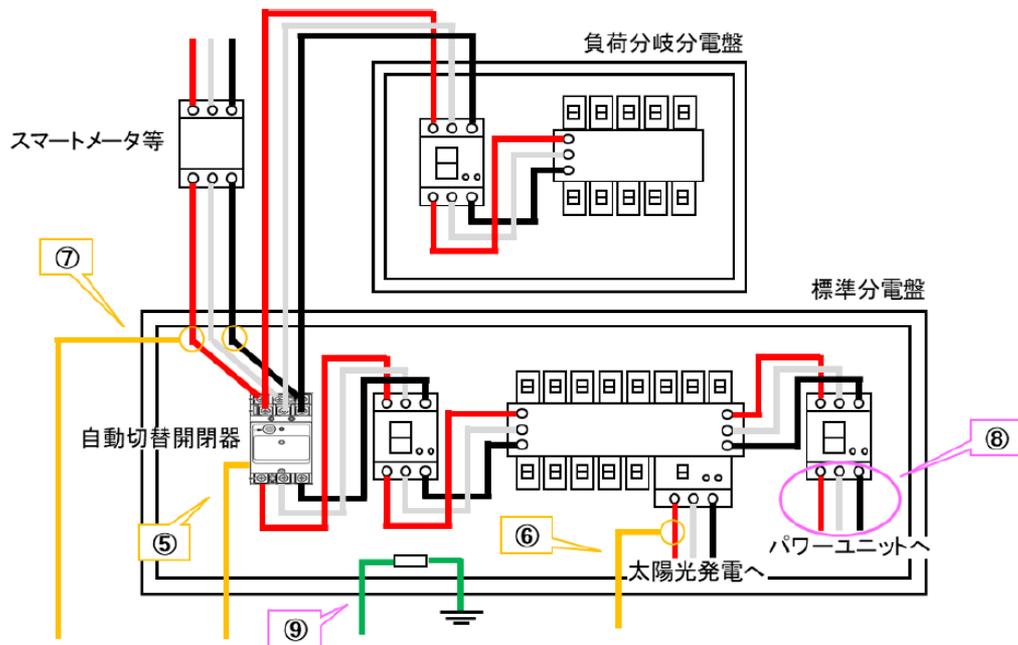
配線孔	番号	接続先	制御ケーブルの名称	備考	調達方法
PF管1	①	プラグホルダコネクタ	プラグホルダ 制御ケーブルセット	2本先バラ仕様。 コネクタが付いている方がパワーユニット側	専用品（同梱）
	②	CN013端子台	電力線 (プラグホルダ)	CV8sq×3C	現地調達
PF管2	③	リモコンコネクタ	リモコンケーブル	室内リモコン(オプション品)が無い場合は不要。 FG線が付いている方がパワーユニット側	専用品（同梱）
	④	ネットワークコネクタ	通信ケーブル	専用耐熱ケーブル。無線ルータを使用しない場合でも配線することを推奨します。※	専用品（同梱）
	⑤	CN007コネクタ	自動切替開閉器 通信ケーブル	FG線が付いている方がパワーユニット側	専用品（同梱）
	⑥	CN016コネクタ	PV_CTケーブル	太陽光発電が無い場合は不要。 FG線が付いている方がパワーユニット側	専用品（同梱）
	⑦	CN006コネクタ	AC_CTケーブル	負荷分岐しない場合は不要。 FG線が付いている方がパワーユニット側	専用品（同梱）
PF管3	⑧	CN011端子台	電力線 (パワーユニット)	~30mの場合：CV8sq×3C、30~40mの場合CV14sq×3C	現地調達
	⑨	CN011端子台	FG線	IV5.5sq以上(緑)	現地調達

※室内リモコンをご使用いただく場合でも、配線することを推奨します。室内リモコン故障時のバックアップとしてスマホアプリが使用できたり、引き渡し後にHEMS連携しようとした際の追加工事が不要となるためです。

電力線、制御ケーブルの接続箇所 (例：宅内側)



▶ V2Hの詳細設定等は、室内リモコンか無線ルータのどちらか一方があれば行えます。



番号	接続先	制御ケーブルの名称	備考	調達方法
③	室内リモコン(オプション品)	リモコンケーブル	室内リモコン(オプション品)が無い場合は不要 FG線が付いている方がパワーユニット側	専用品
④	無線ルータ(お客様所有品)	通信ケーブル	専用耐熱ケーブル 無線ルータを使用しない場合は不要	専用品
⑤	自動切替開閉器	自動切替開閉器 通信ケーブル	FG線が付いている方がパワーユニット側	専用品
⑥	太陽光パワコン用電力線	PV_CTケーブル	太陽光発電が無い場合は不要 FG線が付いている方がパワーユニット側	専用品
⑦	電力引込線	AC_CTケーブル	負荷分岐しない場合は不要 FG線が付いている方がパワーユニット側	専用品
⑧	V2H分岐ブレーカ	電力線 (パワーユニット)	~30m: CV8sq×3C 30~40m: CV14sq×3C	現地調達
⑨	FG端子	FG線	IV5.5sq以上(緑)	現地調達

参考資料

現地調達部材一覧

品名	規格・仕様	員数
電力線 (分電盤～パワーユニット)	～30m : CV8sq×3C 30～40m : CV14sq×3C	適宜
電力線 (パワーユニット～プラグホルダ)	CV8sq×3C	適宜
FG線	IV5.5sq以上 (緑)	適宜
丸型圧着端子	電力線 (CV8sq用、CV14sq用) FG線 (IV5.5sq用) ケーブルの太さに応じて手配ください	適宜
契約ブレーカ	契約電力に応じて設置してください 契約ブレーカが無い場合は、配線用遮断器 (MCCB) を設置してください	1
V2H分岐ブレーカ	【1次送り配線】 漏電遮断器 (ELCB) 逆潮流可能型 定格電流 : 40A 感度電流 : 30mA 極数、素子数 : 3P3E (3P2Eは不可) 【2次送り配線】 配線用遮断器 (MCCB) 定格電流 : 40A 極数、素子数 : 3P3E (3P2Eは不可)	1
分電盤	環境に応じて選定してください	適宜
フリーボックス	環境に応じて選定してください	適宜
PF管	φ28用防水タイプ	適宜
PF管コネクタ	φ28用防水タイプ	適宜

品名	規格・仕様	員数
アンカーボルト	C-1050 (パワーユニット据置、 プラグホルダ : ポール設置の場合)	適宜
ナット	M10 (パワーユニット据置、 プラグホルダ : ポール設置の場合)	適宜
バネ座金	M10用 (パワーユニット据置、 プラグホルダ : ポール設置の場合)	適宜
平座金	M10用 (パワーユニット据置、 プラグホルダ : ポール設置の場合)	適宜
木ネジ	例 : ST5.8 長さ40mm以上 (パワーユニット、プラグホルダ壁掛設置の場合)	適宜